

平成 27 年度 首都圏進路研修 感想文

コース「I」

研修先「東京大学理学部(本郷)」 2年7組 番

研修中の模擬授業は大学の雰囲気を経験できましたし、興味深い講義内容だったと思います。午前中の2時間足らずという短い時間ながら大学の物理学科では何を学び、やっていくのかなどの進路選択にとっても参考になることを知ることができ、貴重な経験をさせていただきました。

物理学といっても分野は広く様々な学部学科と連携することができる非常に幅の広い学科であるということや、授業のうちの多くを実験が占めていること、走査トンネル顕微鏡のしくみについて、在学生の方の状況など、具体的な内容から大学卒業後の進路に至るまでの情報を知ることができたことで、物理学科に進学した場合の進路のイメージを掴むことができました。

このたびの研修は私に進学することに大きな期待を抱かせるものとなりました。研究室で生き生きと研究に取り組む大学院生の方や教師の方の姿を思い浮かべると、大学生活に期待が膨らみます。これからはこの想いを胸に勉学に励みたいと思います。また、このような他では得難い体験を提供して下さった方々に感謝いたします。

平成27年度 首都圏進路研修 感想文

コース【1】

研修先【 東 大 理 学 部 】 2 年 4 組 番 氏 名

今日の研究を通じて、東京大卒のことや長谷川研究室で行なっている研究、それに関する物理学の歴史と現在について理解し、大学に向けた今後の高校生活への士気が高まりました。

まず、見学した実験装置は自分たちで作ったと聞いてとても驚きました。少ない人数での研究から大きな発見を生み出そうとしているところから研究室のみなさんの強い信念を感じました。模擬授業の中では私には理解が難しいような話もありましたが、私は大学で高度な研究をするために今までより強い憧れを抱くようになり、高校でしっかりと勉強して大学で通用する力をつけたと思います。その上、徹夜で論文を書くことのできる体力や精神力も必要なかもしれないと思ったので、その点も含めて頑張ります。

研修ではとても有意義な時間を過ごすことができました。長谷川研の研究の成功を期待しております。ありがとうございました。